

東洋炭素株式会社

2021年12月期第2四半期 決算説明資料

2021年8月18日

東洋炭素株式会社

2021年12月期第2四半期 決算概要

1. 2021年12月第2四半期業績

	FY20/1H	FY21/1H			
		(F) *	(A)	前年同期比	予想比
(単位：百万円)					
売上高	15,514	16,500	17,535	+ 2,021 / + 13.0 %	+ 1,035 / + 6.3 %
営業利益	2,063	1,800	2,366	+ 302 / + 14.7 %	+ 566 / + 31.5 %
(売上高営業利益率)	13.3%	10.9%	13.5%		
経常利益	2,105	2,100	2,779	+ 673 / + 32.0 %	+ 679 / + 32.4 %
(売上高経常利益率)	13.6%	12.7%	15.9%		
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1,461	1,300	1,824	+ 362 / + 24.8 %	+ 524 / + 40.3 %
1株当たり 四半期純利益	69円69銭	61円99銭	86円98銭		
為替レート	108.3円/\$ 119.3円/€ 15.4円/人民元	105円/\$ 125円/€ 16円/人民元	107.7円/\$ 129.8円/€ 16.6円/人民元		

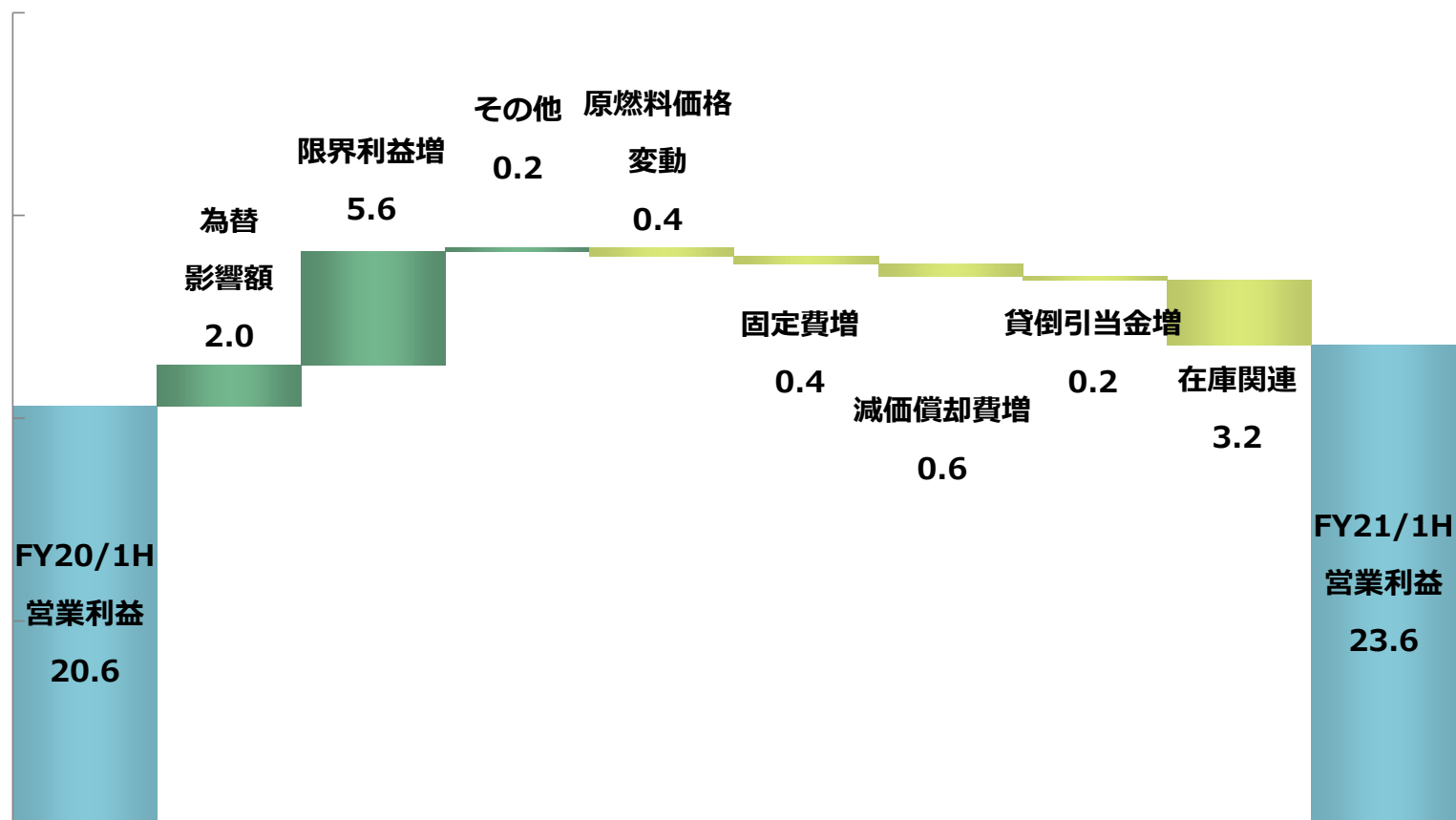
* 2021年5月12日公表

2. 営業利益増減要因

(2020年12月期1H vs2021年12月期1H)

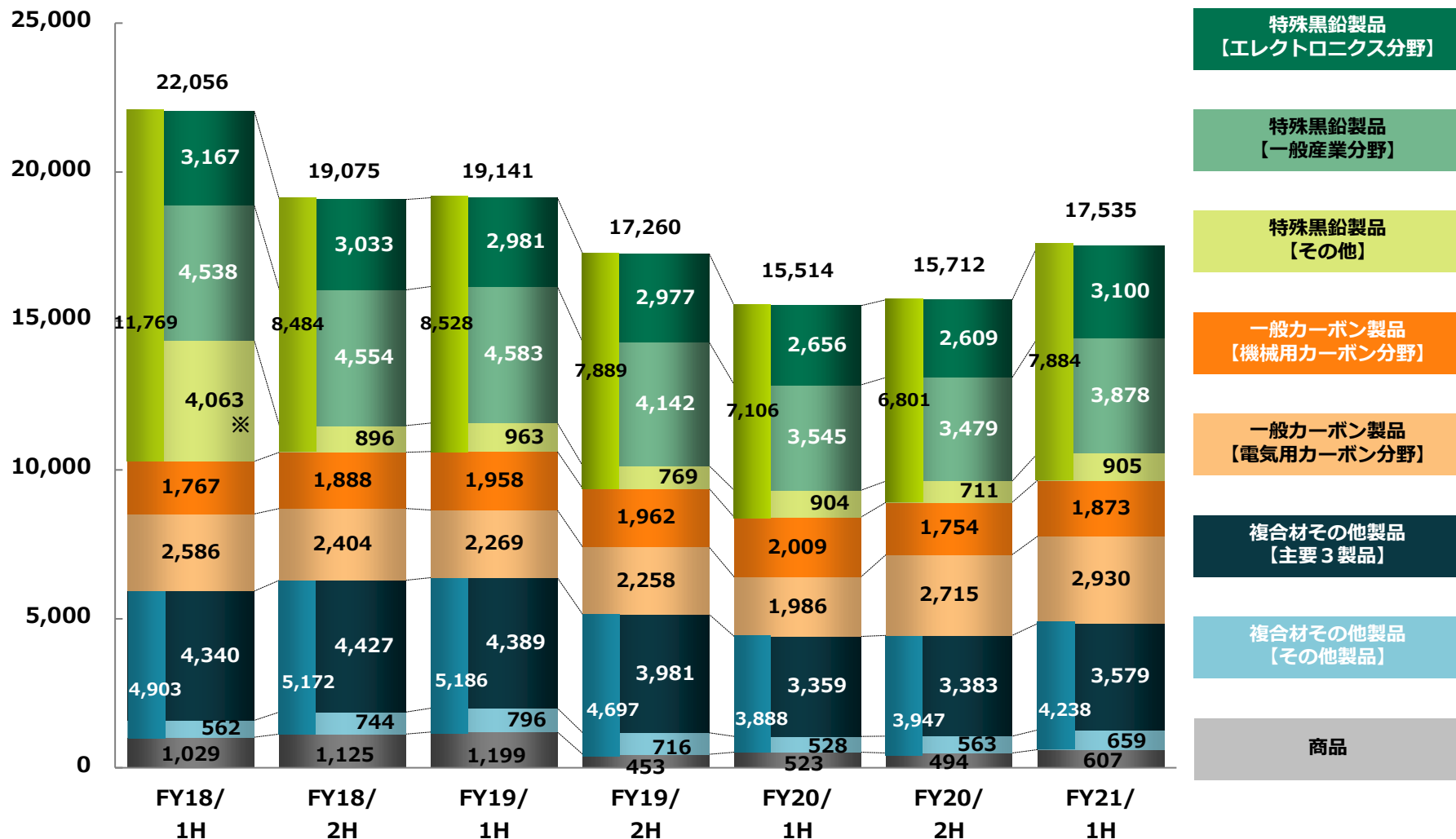
✓ 売上増による限界利益増と円安で前年同期比+14.7%

(単位：億円)



3. 製品・分野別売上高

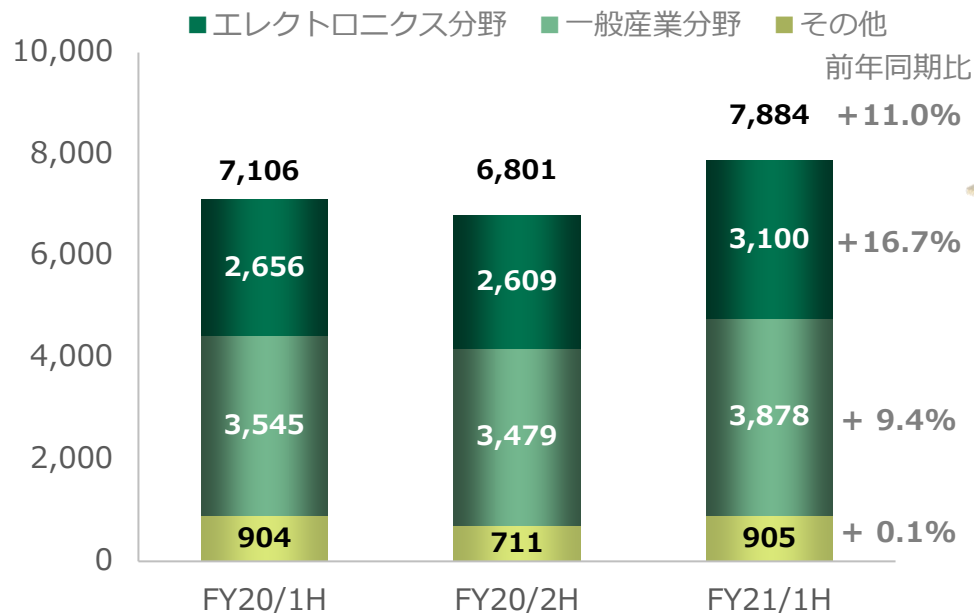
(単位：百万円)



※FY18/1Hの特殊黒鉛製品 その他の売上高には、中国高温ガス炉 (HTR-PM)向けの売上高3,204百万円が含まれております。

3. 製品・分野別売上高 特殊黒鉛製品

(単位：百万円)



【エレクトロニクス分野】

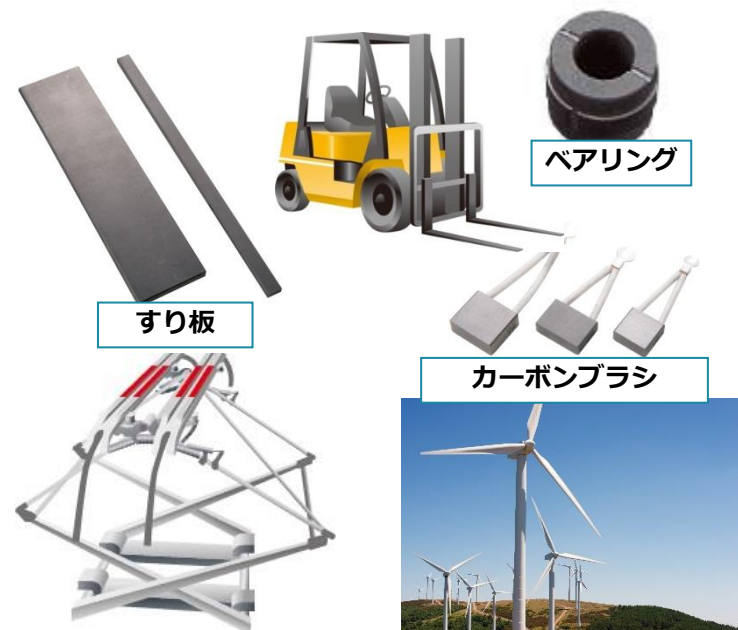
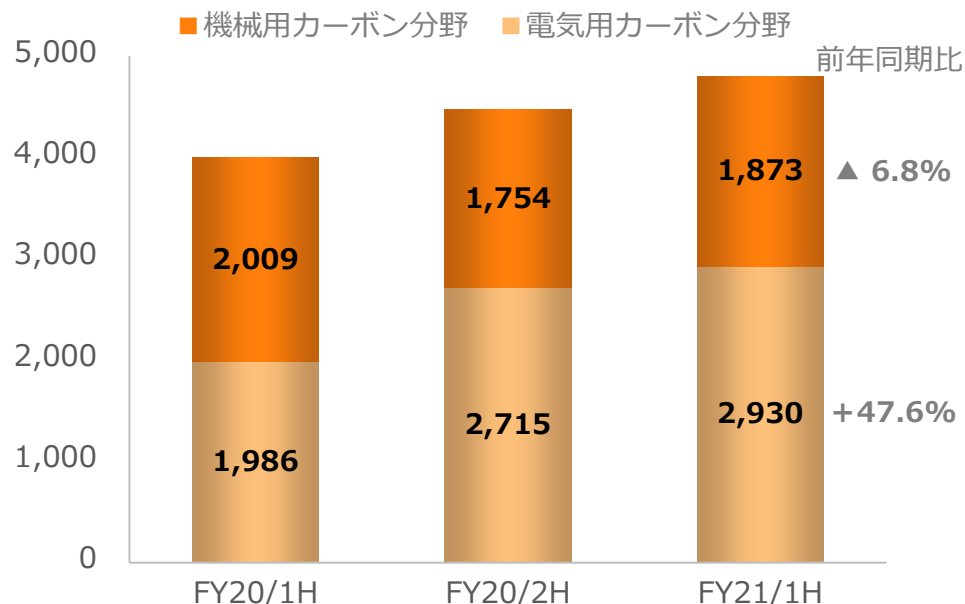
太陽電池製造用は、競争環境踏まえ、採算案件に受注を絞り込み前年同期比ダウン。一方、単結晶シリコン製造用は、顧客の在庫調整の影響などから不振に終わった前期より大幅回復、化合物半導体も、市場の立ち上がりにともない大きく伸長するなど、両用途が業績を牽引。

【一般産業分野】

半導体需要の高止まり、自動車等の対面産業の稼働回復にともない、連続製造用や工業炉用の需要増加。

3. 製品・分野別売上高 一般カーボン製品

(単位：百万円)



【機械用カーボン分野】

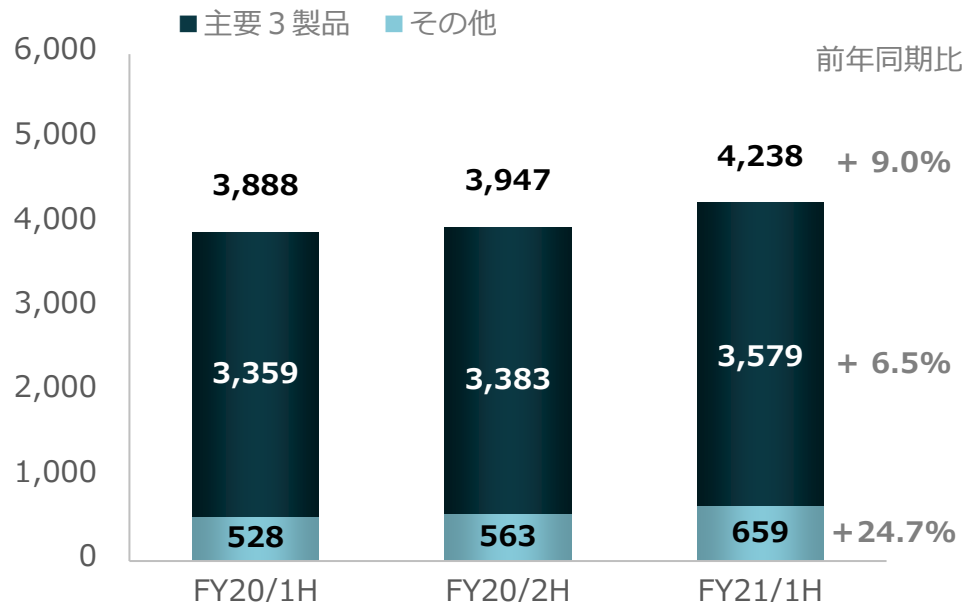
軸受・シールリング等は、FY20/1Hの特需の反動で前年同期は下回ったものの、安定した水準で推移。パンタグラフ用すり板も引き続き需要安定。

【電気用カーボン分野】

家電、電動工具の巣ごもり需要にともなう小型モーター用の需要は、当初FY20/2Hをピークに漸減想定も、FY21/1Hはさらに高水準の需要で、半期では史上最高水準の売上高を記録。特殊黒鉛製品エレクトロニクス分野とともに業績を牽引。

3. 製品・分野別売上高 複合材その他製品

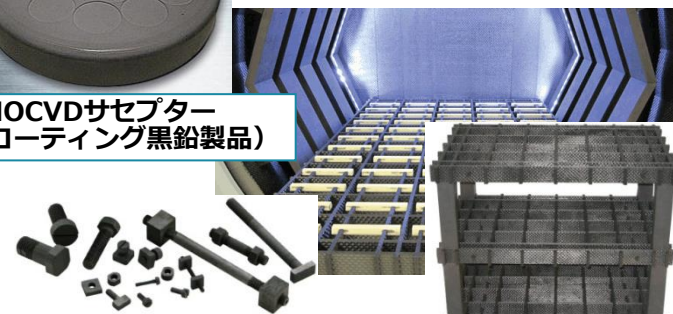
(単位：百万円)



MOCVDサセプター
(SiCコーティング黒鉛製品)



黒鉛シート製品



三段トレイ
(C/Cコンポジット製品)



ボルト・ナット
(C/Cコンポジット製品)

【主要3製品】

SiCコーティング黒鉛製品は、需要高水準で半導体用（シリコン/SiC）・LED用ともに回復。特に、SiC半導体関連は市場立ち上がりにより売上急伸。

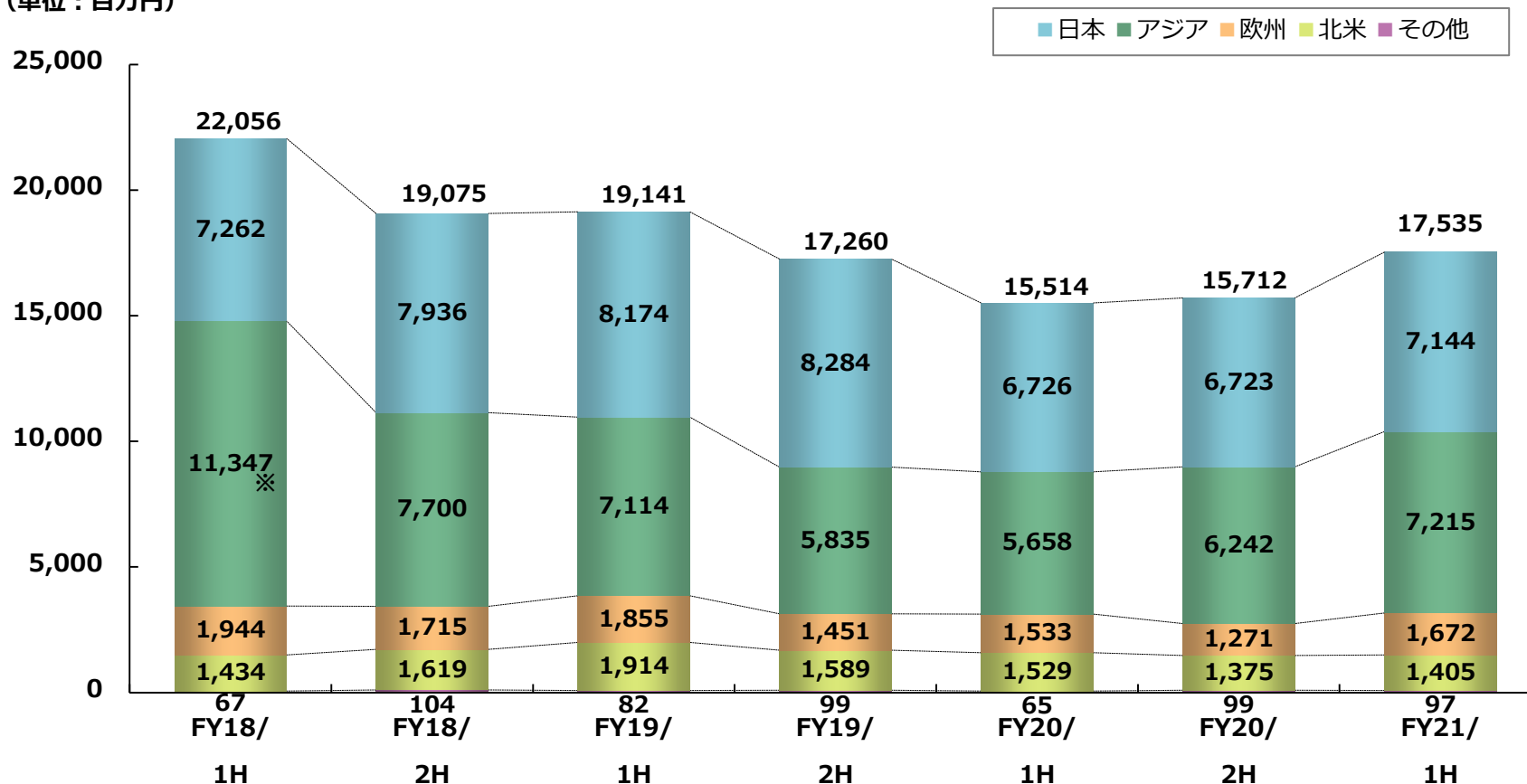
C/Cコンポジット製品は、半導体用が好調。工業炉用は回復緩やかながらも、一部で炉のメンテナンス再開にともなう需要が発生するなど、回復基調。

黒鉛シート製品は、自動車・半導体の稼働増にともない需要増。主要3製品の中でも回復顕著。

4. 地域別売上高

✓ 各地域概ね回復 アジアの中でも中国は前年同期比+45.3%と大幅増

(単位：百万円)



※ FY18/1Hのアジアの売上高には、中国高温ガス炉（HTR-PM）向けの売上高3,204百万円が含まれております。

5. 2020年12月期第2四半期

連結貸借対照表および連結キャッシュ・フロー計算書

連結貸借対照表	(単位：百万円)			連結キャッシュ・フロー 計算書	(単位：百万円)	
	20/6月末	20/12月末	21/6月末		FY20/1H	FY21/1H
資産合計	74,847	76,075	78,917	現金及び現金同等物 の期首残高	6,101	12,093
受取手形及び売掛金	11,666	11,389	12,498	現金及び現金同等物 の増減額	4,373	▲ 638
たな卸資産	15,769	15,675	15,776	現金及び現金同等物 の四半期末残高	10,474	11,455
有形固定資産	26,369	28,448	29,853	営業活動によるCF	3,785	3,568
負債・純資産合計	74,847	76,075	78,917	投資活動によるCF	1,778	▲ 3,362
有利子負債	298	255	209	財務活動によるCF	▲ 1,116	▲ 1,174
資本金	7,947	7,947	7,947			
純資産	65,712	66,622	68,657			
自己資本比率	86.8%	87.5%	86.9%			

2021年12月期業績予想

1. 2021年12月期業績予想

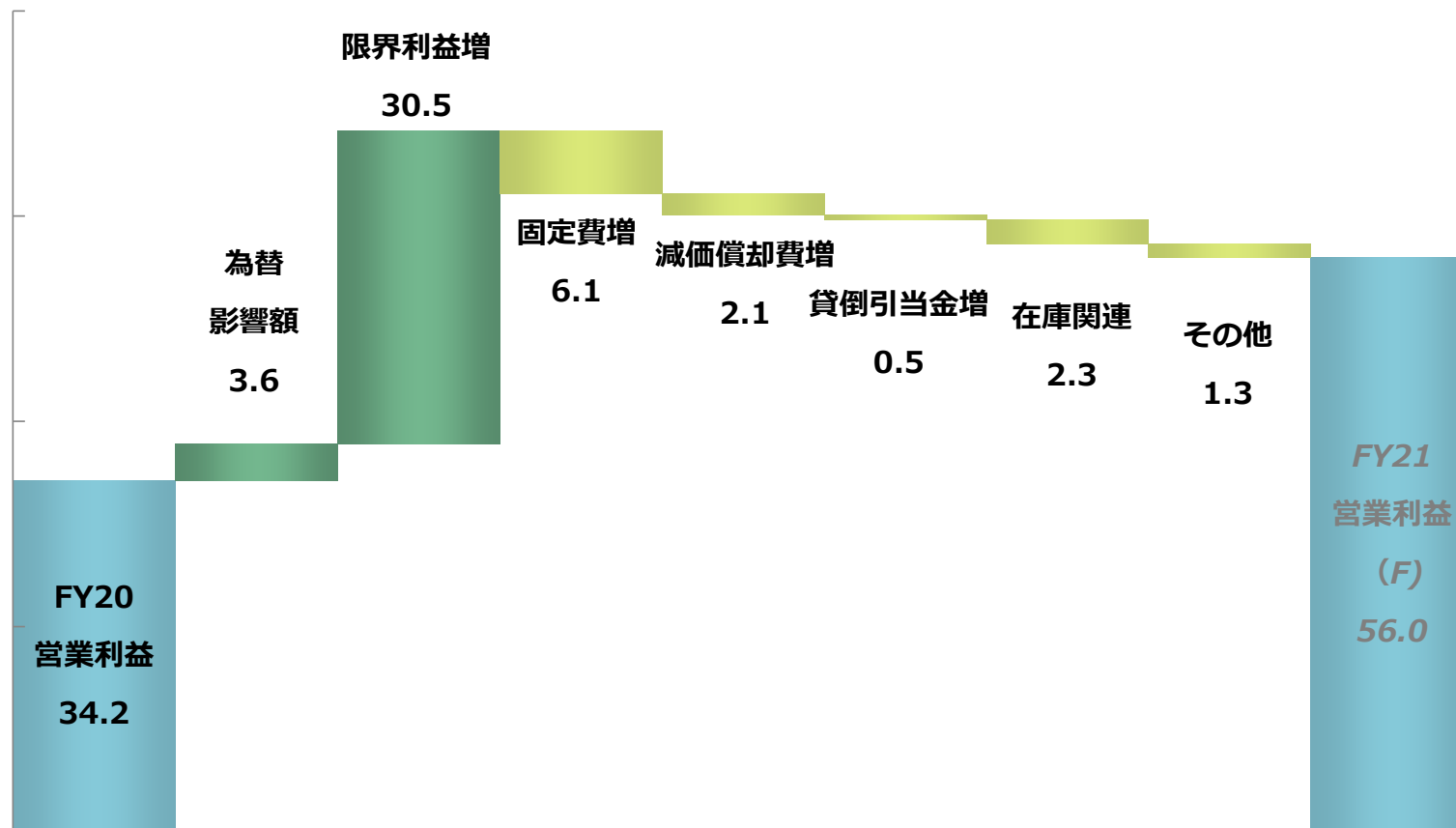
	FY20			FY21					
	(単位：百万円)	内訳		前回 (F) *	今回 (F)	内訳		前期比	予想比
売上高	31,226	1H	15,514	33,600	36,500	1H (A)	17,535	+ 5,273 / + 16.9 %	+ 2,900 / + 8.6 %
		2H	15,712			2H (F)	18,964		
営業利益	3,422	1H	2,063	4,000	5,600	1H (A)	2,366	+ 2,177 / + 63.6 %	+ 1,600 / + 40.0 %
		2H	1,358			2H (F)	3,233		
(売上高営業利益率)	11.0%			11.9%	15.3%				
経常利益	3,877	1H	2,105	4,300	6,000	1H (A)	2,779	+ 2,122 / + 54.7 %	+ 1,700 / + 39.5 %
		2H	1,771			2H (F)	3,220		
(売上高経常利益率)	12.4%			12.8%	16.4%				
親会社株主に帰属する当期純利益	2,662	1H	1,461	2,900	4,200	1H (A)	1,824	+ 1,537 / + 57.7 %	+ 1,300 / + 44.8 %
		2H	1,200			2H (F)	2,375		
1株当たり当期純利益	126円95銭	1H	69円69銭	138円27銭	200円26銭	1H (A)	86円98銭		
		2H	57円26銭			2H (F)	113円28銭		
為替レート	106.8円/\$ 121.8円/€ 15.5円/人民元			105円/\$ 125円/€ 16円/人民元		(2H前提) 105円/\$ 128円/€ 16.5円/人民元			

* 2021年5月12日公表

2. 営業利益増減要因 (2020年12月期 vs 2021年12月期)

✓人件費・試験研究費などの固定費や減価償却費は増加も
売上増と製品MIXの改善により限界利益大幅増で前期比+63.6%

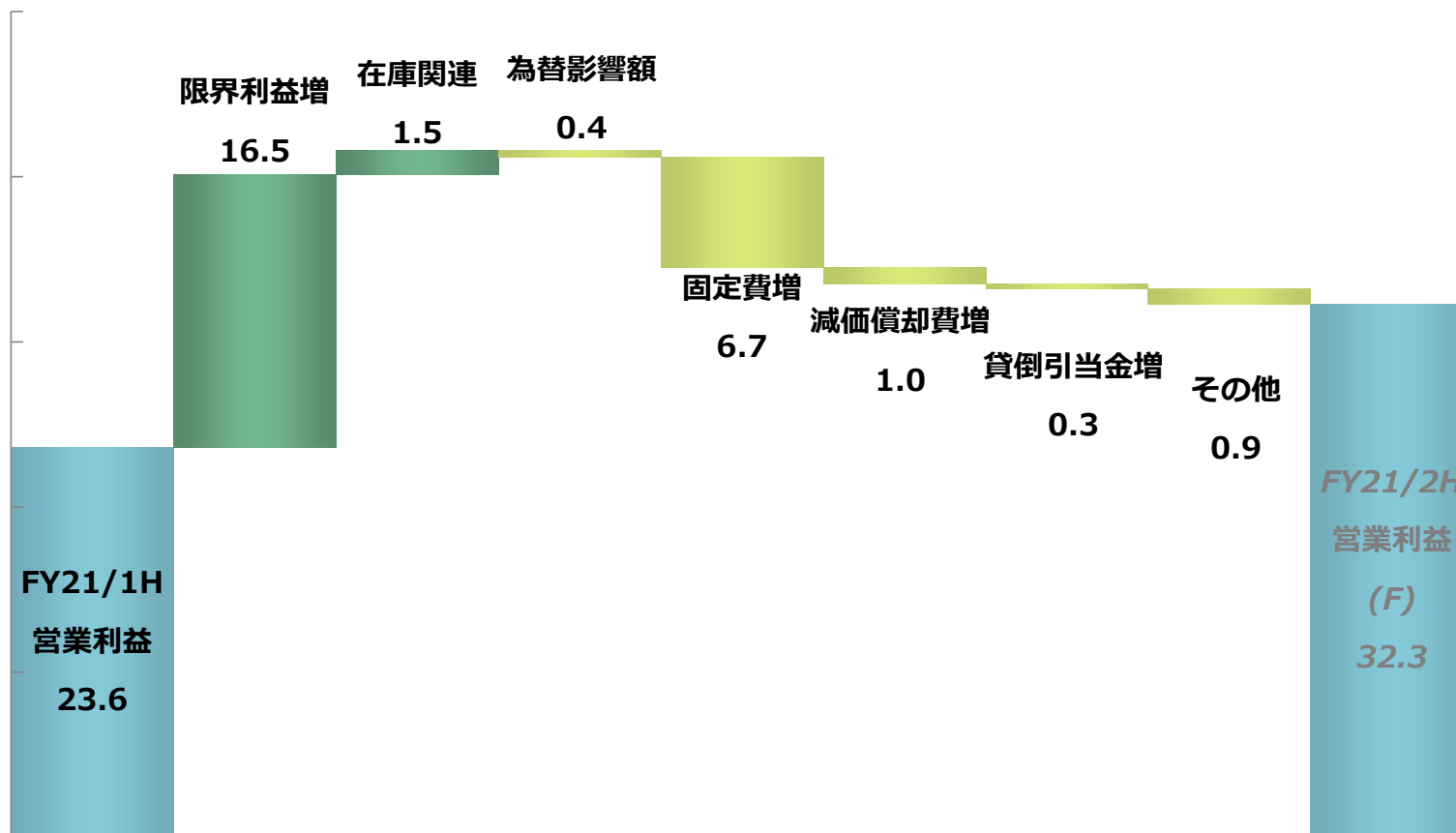
(単位：億円)



2. 営業利益増減要因 (2021年12月期1H vs 2H)

✓人件費中心に固定費増加も製品MIXの改善進み限界利益増で+36.6%

(単位：億円)



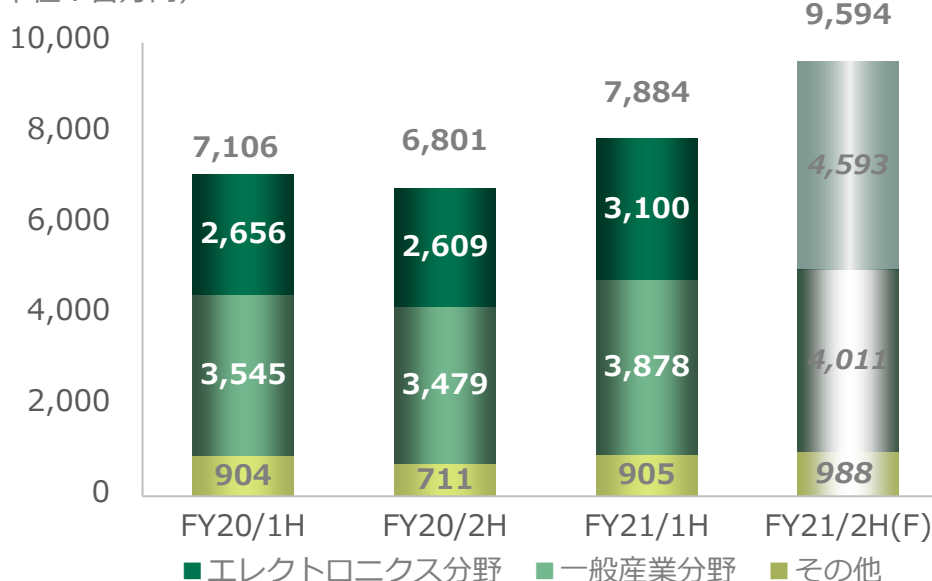
3. 製品・分野別売上高

製品・分野別	FY20			FY21					
	1H	2H	合計	1H	増減 (%)	2H (F)	増減 (%)	合計	増減 (%)
特殊黒鉛製品	7,106	6,801	13,907	7,884	+11.0	9,594	+41.1	17,479	+20.1
エレクトロニクス分野	2,656	2,609	5,266	3,100	+16.7	4,593	+76.0	7,694	+46.1
一般産業分野	3,545	3,479	7,024	3,878	+9.4	4,011	+15.3	7,890	+12.3
その他	904	711	1,616	905	+0.1	988	+38.8	1,893	+17.1
一般カーボン製品（機械用）	2,009	1,754	3,763	1,873	▲6.8	1,738	▲0.9	3,611	▲4.1
一般カーボン製品（電気用）	1,986	2,715	4,701	2,930	+47.6	2,466	▲9.2	5,397	+14.8
複合材その他製品	3,888	3,947	7,835	4,238	+9.0	4,570	+15.8	8,808	+12.4
主要3製品	3,359	3,383	6,743	3,579	+6.5	3,883	+14.8	7,463	+10.7
その他	528	563	1,092	659	+24.7	686	+21.7	1,345	+23.1
商品	523	494	1,017	607	+16.1	595	+20.4	1,203	+18.2
合計	15,514	15,712	31,226	17,535	+13.0	18,964	+20.7	36,500	+16.9

3. 製品・分野別売上高 特殊黒鉛製品

製品・分野別	FY20			FY21				増減は前年同期比	
	1H	2H	合計	1H	増減 (%)	2H (F)	増減 (%)	合計	増減 (%)
特殊黒鉛製品	7,106	6,801	13,907	7,884	+11.0	9,594	+41.1	17,479	+20.1
エレクトロニクス分野	2,656	2,609	5,266	3,100	+16.7	4,593	+76.0	7,694	+46.1
一般産業分野	3,545	3,479	7,024	3,878	+9.4	4,011	+15.3	7,890	+12.3
その他	904	711	1,616	905	+0.1	988	+38.8	1,893	+17.1

(単位：百万円)



【エレクトロニクス分野】

- ・単結晶シリコン製造用は引き続き需要強く、2Hで一段の増加。
- ・化合物半導体製造用は、太陽電池製造用に並ぶ売上規模にまで拡大。
- ・太陽電池製造用は、採算案件の獲得に注力し、2Hでは持ち直し。

【一般産業分野】

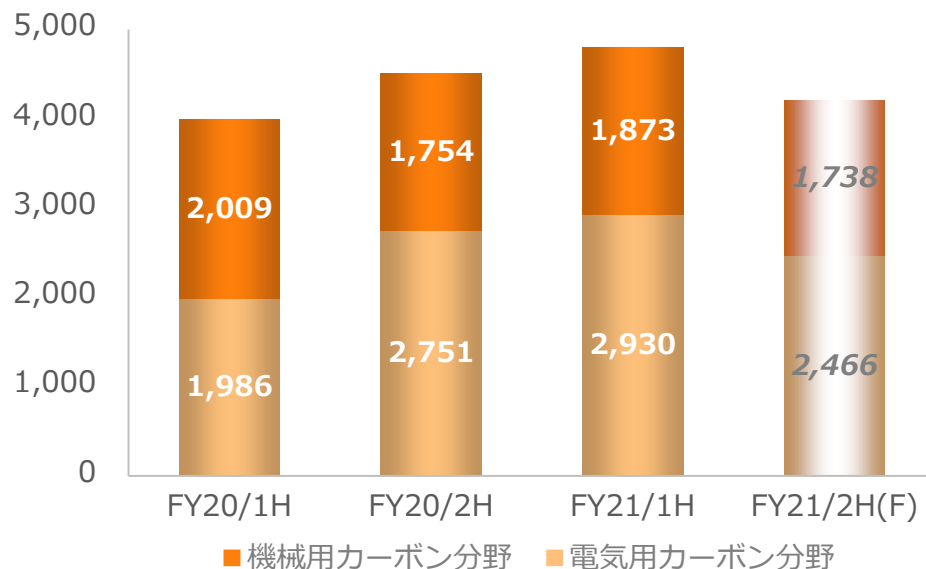
- ・放電加工電極用や工業炉・連続鋳造用などの冶金用は、1H+αの安定した水準で推移。コロナ禍で大きく落ち込んだ前期より回復。

3. 製品・分野別売上高 一般カーボン製品

製品・分野別	FY20			FY21					
	1H	2H	合計	1H	増減 (%)	2H (F)	増減 (%)	合計	増減 (%)
一般カーボン製品 (機械用)	2,009	1,754	3,763	1,873	▲6.8	1,738	▲0.9	3,611	▲4.1
一般カーボン製品 (電気用)	1,986	2,715	4,701	2,930	+47.6	2,466	▲9.2	5,397	+14.8

増減は前年同期比

(単位：百万円)



【機械用カーボン分野】

- ・FY20/1Hの特需反動減あるも、軸受・シールリングやパンタグラフ用すり板は、2H以降も安定した水準を維持。

【電気用カーボン分野】

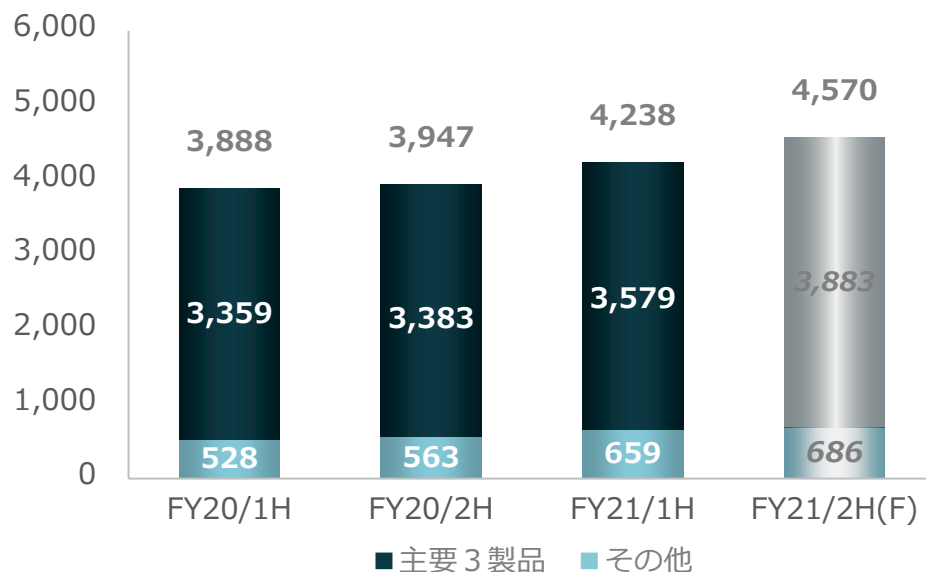
- ・巣ごもり需要にともなう家電、電動工具向けの小型モーター用の需要は一巡し2Hは減少も、1Hの売上寄与し、通期では50億円を堅持。

3. 製品・分野別売上高 複合材その他製品

製品・分野別	FY20			FY21					
	1 H	2 H	合計	1 H	増減 (%)	2 H (F)	増減 (%)	合計	増減 (%)
複合材その他製品	3,888	3,947	7,835	4,238	+9.0	4,570	+15.8	8,808	+12.4
主要3製品	3,359	3,383	6,743	3,579	+6.5	3,883	+14.8	7,463	+10.7
その他	528	563	1,092	659	+24.7	686	+21.7	1,345	+23.1

増減は前年同期比

(単位：百万円)

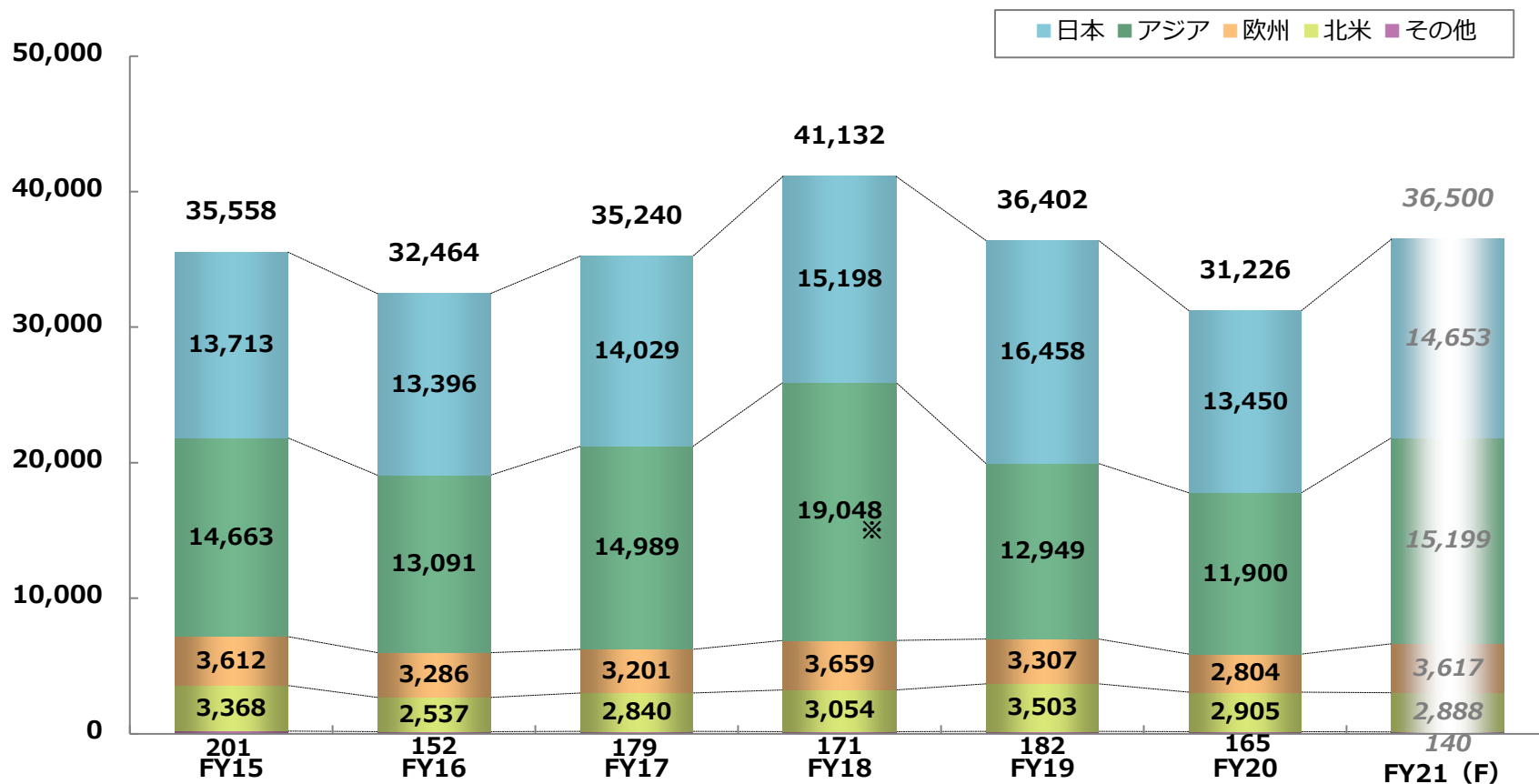


【主要3製品】

- ・ SiCコーティング黒鉛製品は、半導体・LED用とも2Hさらに需要増で、需給逼迫。新設設備は4Qより稼働開始、本格寄与は来期以降に。
- ・ C/Cコンポジット製品、黒鉛シート製品は、1H並みの水準を維持し、堅調。

✓ 日本・アジア中心に概ね前期比増

(単位：百万円)



※ FY18のアジアの売上高には、中国高温ガス炉（HTR-PM）向けの売上高3,204百万円が含まれております。

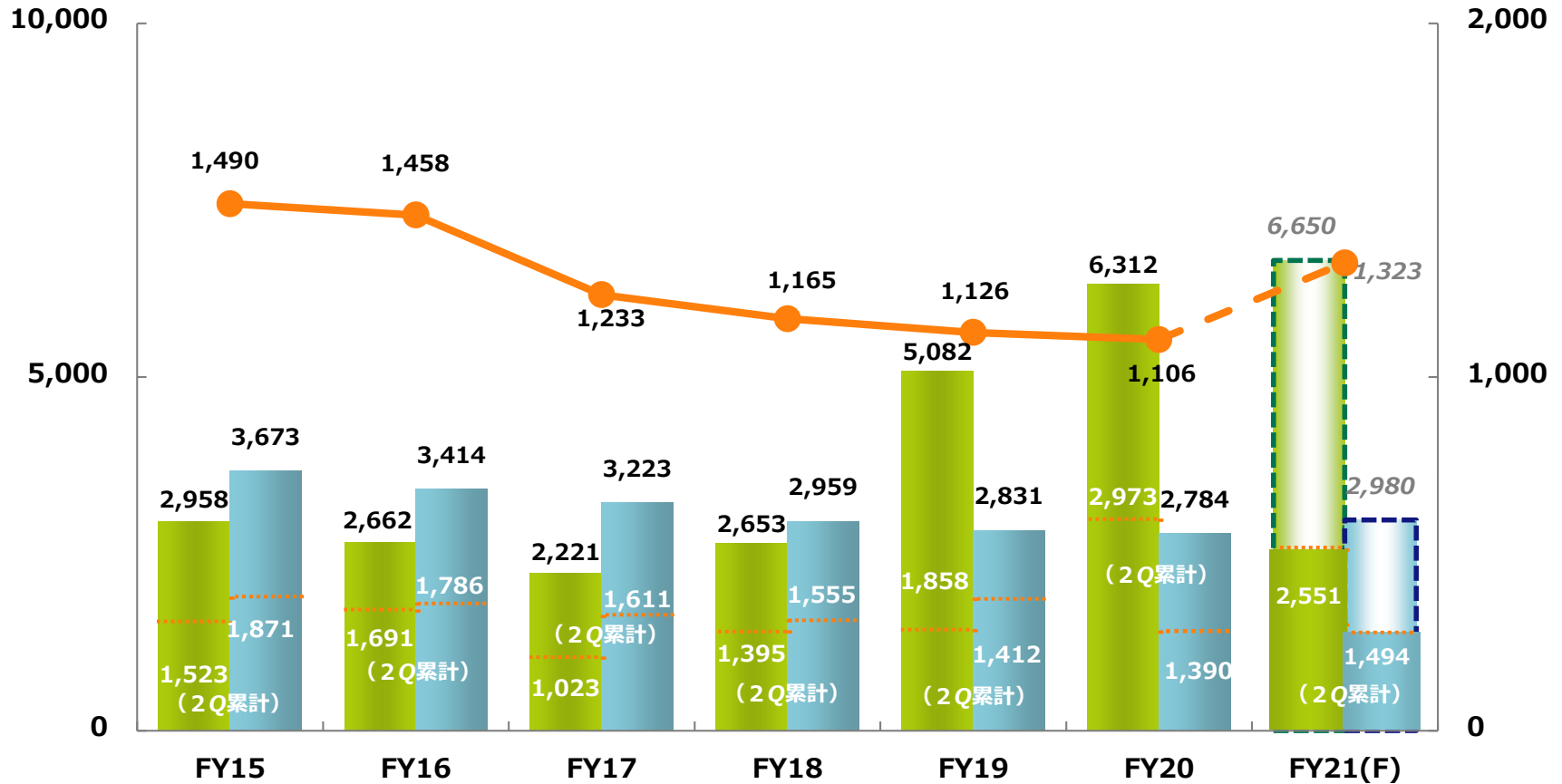
5. 設備投資・減価償却費・研究開発費

✓設備投資は、実施時期見直し等により期初計画より圧縮も高付加価値化・生産性向上に向けた主要投資は着々と進行

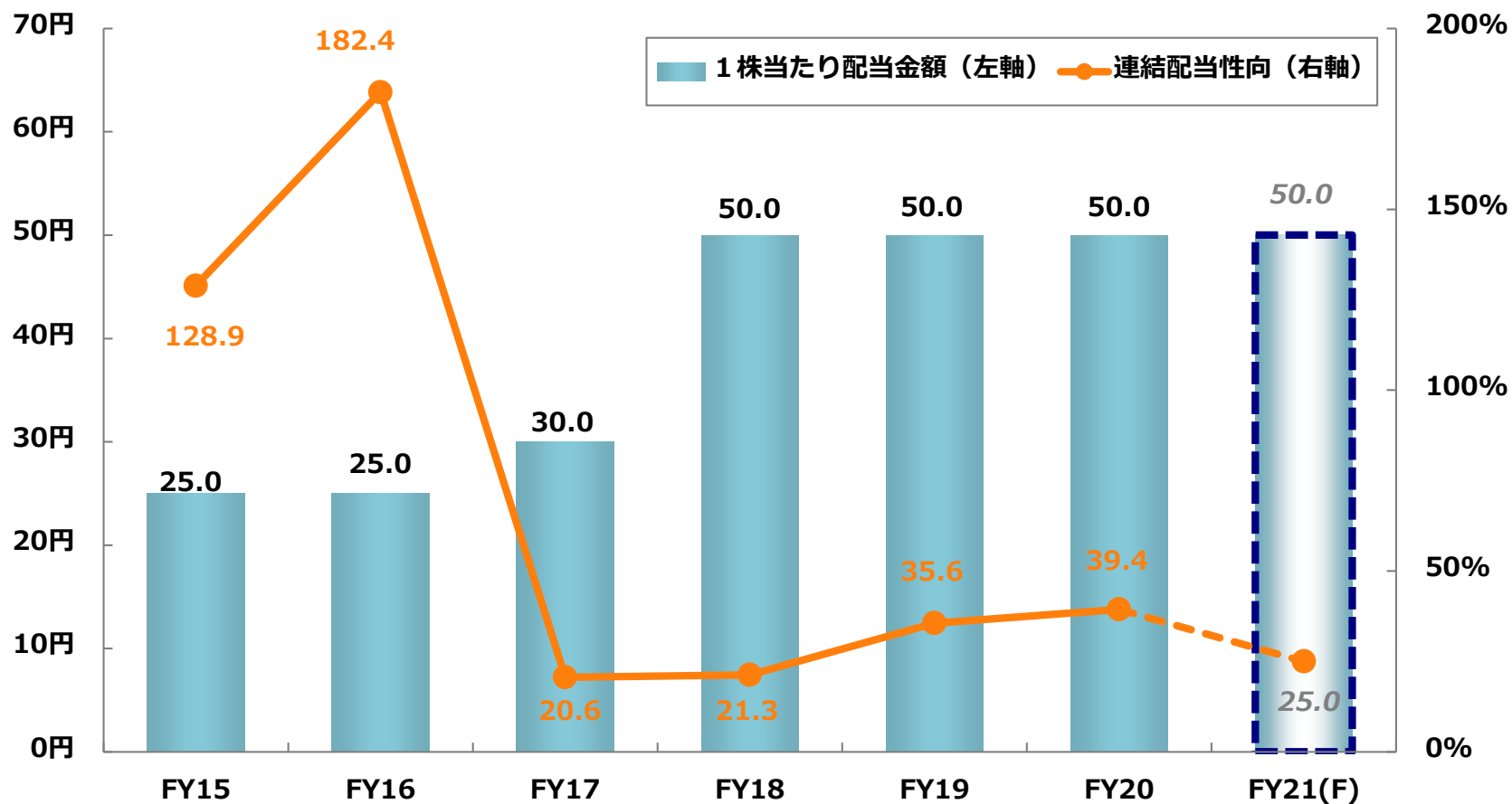
(単位：百万円)

■ 設備投資 (左軸) ■ 減価償却費 (左軸) ● 研究開発費 (右軸)

(単位：百万円)



✓ 利益水準・投資等の資金需要を見極め、今期配当決定予定



高付加価値分野の設備投資 半導体需要の高まりを見据えて

等方性黒鉛 製造ライン

総額 約**70**億円

※現時点の計画値集計

- ・ 素材製造～加工の生産設備やユーティリティ設備などを新設/更新 半導体向け大型材中心に能増 燃料の見直しなどで省エネにも寄与
- ・ 完成設備より順次稼働開始 FY22初旬で8割完了目処
- ・ トータルキャパは3割増加、FY25までに生産量2割増を目指す（FY19比/大型材は約4割増）

高純度化処理設備 (日・中)

総額 約**25**億円

- ・ 国内は能力増強で2割のキャパ増 FY21/4Qより稼働
- ・ 需要増加を見越し中国に新設 現在テスト稼働中 現有の米・独含め、グローバルでの供給体制構築

SiCコーティング 黒鉛製造ライン

総額 約**30**億円

- ・ 現在テスト稼働中で顧客の認定取得中 FY21/4Qより本格稼働予定
- ・ LED用に加え、足元需要増加中のSi/SiC半導体向けにもフル活用すべくチューニング中

**その他機械用カーボンやカーボンブラシ、子会社の加工設備などの生産設備も
高付加価値化・生産性向上に向け投資実行中**

サステナブル経営の推進

事業機会

当社は、再生可能エネルギー設備・自動車・各種半導体分野に
製品（部品・製造部材）を供給



**カーボンニュートラルの実現に向けた
再生可能エネルギーの拡大・自動車電動化の進展は、絶好のビジネスチャンス**
エネルギー・エレクトロニクス・社会インフラ・モビリティ・ライフサイエンス
の5領域をターゲットに研究開発を推進

<開発事例>

貴金属触媒担持クノーベル®の試薬販売開始 燃料電池の電極として採用テスト進行中

課題

**製造工程において化石燃料や電力を使用しており、温室効果ガスの排出抑制など
環境負荷低減や気候変動リスクへの対応を重要な課題と認識**

様々な角度から取り組みを推進

- ・ 製造工程におけるエネルギー使用の効率化・省力化
- ・ 廃棄物削減（製品のリユース・リサイクル）による温室効果ガス発生抑制

2. サステナビリティ推進体制の構築

サステナビリティ推進委員会設置（2021年6月）

- ・ 事業活動によるサステナビリティ実現の取組みをグループ全体で戦略的に推進
- ・ 経営における重要機関としてガバナンス体制に組み込み

サステナビリティ推進委員会

委員長：代表取締役会長兼社長兼CEO

ESG価値創造推進グループ

持続可能な生産活動推進グループ

人と組織の活性化推進グループ

主な役割

- ・ サステナビリティに関する方針、戦略、計画の策定
- ・ 目標とすべき指標KPIの策定
- ・ 各種開示フレームワークへの対応
- ・ 従業員に対するサステナビリティ方針の浸透
- ・ グループ全体でのサステナビリティ活動の推進
- ・ 活動全体のモニタリングとPDCAマネジメント

TCFD提言への賛同（2021年7月）

- ・ TCFDが提言する開示フレームワーク（気候関連のリスクおよび機会に関するガバナンス・戦略・リスク管理・指標と目標）に沿った情報開示に向け準備中



3. サステナビリティ情報発信強化の取組み

2022年秋の統合レポート発行に向け準備中

2021

AUG.

2022

組織体制整備
サステナビリティ
推進委員会発足

TCFD提言への
賛同表明

TCFD対応
プロジェクト
スタート

各種分析
スタート

マテリアリティ
特定

目標・KPI
策定

価値創造
ビジョン策定

ウェブサイト
リニューアル

ウェブサイト
情報拡充

東洋炭素は 顧客に寄り添った技術開発で 社会課題の解決に貢献します



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 東洋炭素はSDGs達成の貢献を目指します。

エレクトロニクス

- 【半導体】結晶成長用部材
ウェハー処理用部材
- 【電子部品】電子部品製造用治具



エネルギー

- 【発電】発電用アース用ブラシ
太陽光発電製造用部材
次世代原子力発電炉心材
- 【燃料電池】触媒担体



モビリティ

- 【電車】パンタグラフ用すり板
- 【航空機】エンジンパーツ製造
(放電加工電極・熱処理用治具)
- 【自動車】燃料ポンプ用カーボンブラシ
ガスケット



社会インフラ

- 【通信】光ファイバー製造用部材
ケーブル製造用部材
- 【一般産業用】バックシン
シールリング軸受



ライフサイエンス

- 【医療】CT装置ターゲット材
分析カラム充填材
- 【家電】LED製造用部材
クリーナー用カーボンブラシ
コンプレッサー用部品



TOYO TANSO

Inspiration for Innovation

(注) 本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、開示時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいますので、実際の業績は、業況の変化などにより異なる場合があります。

〈お問合せ先〉

東洋炭素株式会社 広報・IR担当

TEL : 06-6472-5811(代)

E-mail : ir@toyotanso.co.jp